

# 名大の時間

私は困っているそう

## 社会のためにできること、私が思うこと

な人を見かけた時に、声をかけるように心がけています。自分が厄介ごとに巻き込まれても、一時的に不利になることがあっても、二度と同じ後悔を繰り返さないためです。

中学生の夏休み、私は習い事への行き道で、一羽のスズメが道路で不自然に暴れているのに気が付きながらも、自転車で通り過ぎたことが

ありました。通り過ぎた後、もしかしたらあのスズメは、ガムに足を取られて動けなくなってしまうていたのかもしれないと思いましたが、引き返すことはありませんでした。

中学生の夏休み、私は習い事への行き道で、一羽のスズメが道路で不自然に暴れているのに気が付きながらも、自転車で通り過ぎたことが

以上で後悔したことは未だにありません。薄情者だと思われたくなくて、この話を誰かにできたことは一度もありませんでした。

中学生の夏休み、私は習い事への行き道で、一羽のスズメが道路で不自然に暴れているのに気が付きながらも、自転車で通り過ぎたことが

ことでも、勇気を出して行動することには何ら違いはありません。こうした日々の積み重ねが、いざというときに自分に勇気をくれるはずだと、私は信じています。

中学生の夏休み、私は習い事への行き道で、一羽のスズメが道路で不自然に暴れているのに気が付きながらも、自転車で通り過ぎたことが

が、誰かの命を救うことができるのであれば、私はいつだって行動のできる人間でいたいと思います。

中学生の夏休み、私は習い事への行き道で、一羽のスズメが道路で不自然に暴れているのに気が付きながらも、自転車で通り過ぎたことが

ています。一瞬の勇気と一生の後悔なら、私は一瞬の勇気を選びます。ひとりの勇気が、思いやりの社会を作り出すと私は信じています。

中学生の夏休み、私は習い事への行き道で、一羽のスズメが道路で不自然に暴れているのに気が付きながらも、自転車で通り過ぎたことが

